

第 1 号議案

令和 2 年度事業報告及び収支決算に関する件

〔 I 〕 令和 2 年度事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

【令和 2 年度の重点事項】

1. J A S ・表示制度（以下「J A S 制度等」という。）を巡る様々な動向を踏まえ、情報収集を行うとともに、農林水産省はじめ関係省庁の指導の下、関係団体と連携を図りながら、J A S 制度等の運用について積極的な役割を果たすよう努力した。
2. 関係団体の協力を得て、下記の諸事業の実施等を通じ、J A S 制度等の普及啓発及び情報発信等に努めた。

【諸事業の実施】

1. J A S 普及啓発事業

(1) 情報誌の発行・配布による広報活動

情報誌「J A S と食品表示」については、J A S や食品表示に関連する情報を中心としつつ、有機や林産関係の内容充実にも努めながら毎月 1 回発行し、関係団体・事業者、関係行政機関及び消費者団体等に配布した。J A S の普及啓発を目的とした J A S マーク付きの付箋を作成し、書籍購入者、講習会・セミナー参加者等へ広く配布するとともに、会員からの要望に応じて随時必要個数を提供した。

情報誌のより一層の普及を目指し、各号の記事に関連する非会員の団体・企業に毎月約 200 冊の情報誌を送付している。これらの結果、定期購読者を新たに 18 件獲得した。

(2) ホームページの充実及び最新情報のメール配信

前年度に一新した J A S 協会のホームページの内容をより一層充実させることで、会員だけでなく、非会員の方々にも J A S 制度や講習会の開催等に関する有益な情報を配信することに努めた。

また、団体会員に対して迅速な情報の提供が必要な際は、メールにて最新情報を発信した。

(3) 媒体広告

「J A S の紹介」の動画を制作し、ホームページに掲載した。同時にアニメーション版の動画も制作した。（令和 3 年 4 月からホームページで公開）

会員からの要請、広告効果などを総合的に判断し、J A S 制度、規格などの広告を掲載した。

(4) イベントへの出展等

イベント概要	当日の様子
第14回食育推進全国大会inあいち 期日：令和2年6月27日～28日	新型コロナ感染拡大防止の為、<u>中止</u>された。
農林水産省「消費者の部屋」特別展示への協力 期日：令和2年9月14日～18日 	農林水産省が行った「消費者の部屋」のJASの特別展示で、JAS製品の紹介とJASのしくみや新たなJASの取組を紹介するイベントに協力した。「選んで安心！JASマークは信頼の証」のテーマで、JAS協会の関係団体・企業から提供された加工食品や木材が種類毎に分かりやすく展示された。有機を含む既存のJASに関するパネル展示、パンフレット配布や「そしゃく配慮食品」、「ノウフクJAS」の特別コーナーや非食品のJAS（畳表）の展示の他、現在検討中のJAS規格のコーナーも設けられた。日本の農林水産物の信頼を守り続け、生活の中に深く浸透しているJASマークについて、改めて見つめ直す良い機会となった。入場者が自由に持ち帰るようJASマーク付きの付箋を置いたところ、大変好評だった。

2. JAS 講習事業等

(1) 食品製造業品質管理担当者等一般講習会の開催

一般加工食品の JAS 認証申請製造業者及び認証製造業者の品質管理担当者等を対象とする一般講習会を、次表のとおり実施した。また、第 3 回よりコロナ感染予防と遠距離からの参加を容易にするため、同時 Live 配信を開始し、Web 参加を可能とした。

開催日（2 日間）	場 所	受講者数	内 容
【第 1 回】中止 令和 2 年 5 月 19 日～20 日	石垣記念 ホール(東京)	—	・ JAS 制度について ・ 食品の表示について ・ 品質管理概論 ・ 食品の安全性 ・ 食品工場における衛生管理 ・ 品質管理活動の実際 ・ 確認テスト 「JAS 制度と食品の表示」
【第 2 回】 令和 2 年 9 月 15 日～16 日	石垣記念 ホール(東京)	60 名	
【追加回】 令和 2 年 10 月 14 日～15 日	福岡商工 会議所(博多)	86 名	
【第 3 回】 令和 3 年 1 月 19 日～20 日	主婦会館 (東京)	会場 9 名 Web 159 名	

(2) 有機関係 JAS 講習会の開催

有機加工食品の格付（又は格付の表示）を行う生産行程管理者、小分け業者及び輸入業者を対象とする JAS 講習会を、次のとおり実施した。また今年度より同時 Live 配信を開始し、WEB 参加を可能とした。

開催日	場 所	受講者数	内 容
令和 2 年 11 月 27 日	ジャパン ライム (東京)	会場 2 名 Web 61 名	・ 総論 ①JAS 法及び有機食品の検査認証制度 ②有機加工食品の日本農林規格及び認証の技術的基準 ・ 各論（業種ごとにコース分け） <u>A コース</u>（生産行程管理者・小分け業者対象） ①生産行程の管理又は把握の方法及び格付の方法 ②小分けの方法及び格付の表示の方法 <u>B コース</u>（輸入業者対象） ③輸入品の受入れ・保管の方法及び格付の表示の方法

(3) 特別セミナー等の開催

(ア) 情報提供の一環として、当協会会員を中心に、特別セミナーを次表のとおり開催した。
同時 Live 配信をすることで遠距離からの参加が可能となった。

開催日	場 所	参加者数	内 容
令和 2 年 9 月 3 日	TKP カンファ レンス センター (東京)	会場 21 名 Web75 名	・「アメリカの食品産業の現状と将来」 講師：吉田 隆夫 氏 クリエイティブ食品開発技術者協会 専務理事 ・「食品表示をめぐる最近の動きと今後の課題」 講師：五十嵐 麻衣子 氏 消費者庁 食品表示企画課 課長
【林産】 令和 2 年 12 月 10 日	ジャパン ライム (東京)	会場 12 名 Web 38 名	・「合板の今後の可能性について」 講師：渋谷 龍也 氏 森林総合研究所 複合材料研究領域 領域長 ・「中大規模木造建築の推進力」 講師：大橋 好光 氏 (一社) 木を活かす建築推進協議会 代表理事

※所属・役職名は、開催当時のもの

(イ) 時宜に適した食品表示セミナーを年 1 回開催した。

3. 消費者庁委託事業

(1) 令和 2 年度新たな加工食品の原料原産地表示制度等に係る表示実態調査

(令和 2 年 6 月～令和 3 年 3 月)

現在流通中の商品について、平成 27 年施行の「食品表示基準」への対応状況と平成 29 年施行の「新たな加工食品の原料原産地表示制度」の表示状況等の調査と分析を行う為、スーパーの 1 店舗において商品 1,349 点の義務表示事項等を撮影し、その画像の整理、分析後、調査報告書を提出した。

(2) 令和 2 年度新たな加工食品の原料原産地表示制度に係る食品関連事業者の理解度等調査

(令和 2 年 12 月～令和 3 年 3 月) (再委託)

平成 30 年度より行っている「新たな加工食品の原料原産地表示理解度調査」の追跡調査の為、前回と同じ設問を同じ事業者に対して実施し、その結果(約 840 件分)を集計した調査報告書を提出した。

(3) 令和 2 年度玄米・精米に係る食品表示制度改正等に関する説明会開催業務

(令和 3 年 2 月～令和 3 年 3 月)

食品表示制度の消費者及び事業者への普及・啓発を目的とした「玄米・精米に係る食品表示改正等に関する説明会」の開催業務を行い、その記録を収めた業務報告書を提出した。開催実

績は以下のとおりである。

日 時：令和3年3月25日（木）13：30～16：00

場 所：Daiwa 晴海ビル 4F「アネックス C」

参加者数：会場 18 名、Web 343 名

4. J A S 規格集等作成販売事業

「改訂第4版ハンディ版食品表示基準」、「別冊ハンディ版食品表示関連法規集」を発行した。
また、前回の追録実施（令和元年9月）以降に J A S 規格等の規程及び一部改訂された品目について、その内容を整理した J A S 規格集（2 規格）を追録として発行した。

5. 支援業務等事業

有機 J A S 認証機関設立のためのセミナーや J A S 制度の研修への講師派遣など、J A S 制度や食品表示などに関する指導・教育・研修等の支援業務を積極的に行った。

6. 諸会議の開催

(1) 総会

当協会定款に基づき、次表のとおり総会を開催し、議案について可決承認された。

期 日	場 所	議 案
(定例) 令和2年 6月17日	製粉会館 (東京)	・ 令和元年度事業報告及び収支決算に関する件 ・ 会費及び賛助会費の額及び納入方法に関する件

(2) 理事会

当協会定款に基づき、次表のとおり理事会を開催し、議案について可決承認された。

期 日	場 所	議 案
【第1回】 令和2年 5月15日	書面決議	・ 令和元年度事業報告及び収支決算に関する件 ・ 会費及び賛助会費の額及び納入方法に関する件 ・ 令和2年度通常総会の開催に関する件
【第2回】 令和3年 3月11日	製粉会館 (東京)	・ 令和3年度事業計画及び収支予算に関する件

(3) 行政情報説明会

当協会の正会員及び賛助会員の認証機関、非会員の認証機関の出席を得て、次表のとおり説明会を開催し、農林水産省食品製造課、林野庁及びFAMICの担当官から行政の最新情報の提供を受けるとともに、会員や一般の認証機関との意見交換を図った。またその模様をLive配信した。

期 日	場 所	主要議題
【第1回】 令和2年 10月5日	主婦会館 (東京) 同 時 Live 配信あり	・ J A S 法施行規則の改正検討内容について 農林水産省 田中係長 ・ 有機 J A S 関係 Q & A 追加（有機畜産関係）について 農林水産省 長谷規格専門官 ・ 有機種子データベース作成について 農林水産省 内村課長補佐 ・ コロナ禍における登録認証機関における J A S 認証工場の 定期調査の状況について 農林水産省 内村課長補佐 F A M I C 村田課長 ・ 最近の J A S 規格制定状況（今後の予定を含む）について
【第2回】 令和3年 1月25日	Live 配信 のみ	・ 林野庁 令和3年度予算について 林野庁 鈴木課長補佐 ・ 農林水産省 食料産業局 令和3年度予算について 農林水産省 西川室長 ・ 農林水産省 組織改編の内容について 農林水産省 西川室長 ・ J A S 登録認証機関の業務運営について 農林水産省 西川室長 ・ F A M I C に対する質問・意見 F A M I C 村田課長